

# 安全第一で対処を

## BCP訓練実施

前田道路支店  
関西支店

前田道路は22日、地震発生時の初動対応力を高めるとともに、災害協定を締結している組織団体とスムーズな連携がとれるよう、全国で地震発生を想定した全国BCP訓練を実施した。

関西支店での訓練は、午前8時30分に地震が発生、大阪地区で震度6強、最大2級の津波が到来す



る想定で行われた。発生直後に関西支店に対策本部を設置し、まず安否確認システムとすべの拠点に配備されたIPトラッキングバーで職員、家族、協力会社の被災状況を確認した。各拠点では、津波警報発生時の避難場所までの移動訓練を行い、移動に係る時間や、経路をハザードマップに照らし合わせて危険個所の確認を行った。その後、災害協定を結んでいる自治体等への周辺地域及び同社被災状況の報告、機械リース業者・資材業者間との資機材の確保のための連携確認訓練を行った。各拠点に

は災害備蓄品の他にも停電対策として蓄電池・発電機を配備しており稼働訓練も実施した。特に災害復旧時の資材供給の重要性から、関西地区に5箇所ある各アスファルト合材工場においては、工場稼働に必要な工場用発電機の設置を進め災害発生に備えている。

対策本部長の益田支店長は災害対策担当者全員に対し「災害はいつ襲ってくるかわからない。あらゆる想定下での通信手段の確保、その後の復旧作業への障害排除を考えなければならぬ。今回の訓練を通して不備があれば改善し、そして緊急時といえども安全第一で対処することが重要だ」と呼びかけた。